

発行所 全日本建設交運一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
 http://www.dumptcg.org/
 E-mail: DQJ06744@nifty.com

CTGの建交労 とちぎ

政府の本当のねらいは「監視社会」 共謀罪の成立を断固阻止しよう

労働組合が狙われる

安倍内閣は今国会で「共謀罪」法案を成立させようとしています。多くの国民がまだこの法案の危険な本質を理解していません。あためて労働組合活動と「共謀罪」との関係について問題点を整理します。

警察判断で「抗議行動計画」も犯罪に
 組合員への不当な差別、解雇などにたいして、組合として会社抗議・要請行動を行うことは珍しくありません。憲法で保障されている正当な権利です。

しかし、警察の判断で「組織的な威力業務妨害罪」として実行前の打ち合わせ段階で「計画」「準備」とでち上げられ犯罪者にされる危険があります。労働組合は「みんなで話し合って」「みんなで決めて」「みんなで実行する」ことが基本です。まさに手足を縛られることになり、このような法律ができれば多くの国民は委縮するでしょう。政権の狙いはそこにあります。なんとしても廃案に追い込みましょう。



3月19日国会前で開かれた反対集会。テロ対策は現行法で十分可能。日弁連など法律の専門家も法案の廃止を求めています。

いのちと健康を守る取り組み 要再検査増加 春の「組合健診」

三月二十六日(日)、恒例の健康診断会を組合事務所で開催しました。年々受診希望者は増え今年も過去最高の四〇人で人数制限を行いました。

早期発見、早期治療の重要性が指摘されていますが、まだまだ積極的に健診を行う人は少数派。組合では受診を促進するため、日曜日の午前中短時間かつ低料金で必要な検査項目をカバーできるように取り組んでいます。再検査が必要と指摘される人が増えています。

来年は近くの公民館での開催を予定しています。



「縛りならおれに任せろ！」職人の技を学習し看板26本設置

1 建設・ダンプとも新加入者増える 3 人で組織拡大統一行動

春の組合員拡大月間行動として、四月九日(日)、各支部合同による拡大統一行動を行いました。

「まだまだ組合の知名度が低い」「宣伝が足りない」「インターネットなんかやらない人はたくさんいる」等々の意見を踏まえ、久しぶりに立看板設置作戦を展開しました。

当日は朝から雨、集まった各支部代表は事務所前で看板職人川満氏から絶対緩まない縛りを指導していただき、いざ路上に。

各支部四班に分かれ、県内主要箇所計26本の立看板を設置しました。

ダンプ支部工藤委員長「ダンプの走るルートや休憩場所は時代とともに変化している。自宅敷地内に看板設置をご協力いただける人はぜひ事務所までご連絡ください。ダンプ支部はなんとしても700人の大台に乗せたい。あと30人、十分実現可能なところまで迫っています。よろしくお願いします」。



組合員の高齢化とともに健康への関心も高まっています。

だれでもできる「共謀罪」反対の取り組みとして、事務所でも反対署名活動やっています。ご協力お願いします。